

## II. “青少年教育施設の特色” について

### 1. 青少年教育施設とは

青少年の健全育成を目的に、自然体験や生活・交流体験の場を提供する青少年交流の家や青少年自然の家（名称は、「少年自然の家」等様々です）が、全国に設置されています（「平成 27 年度社会教育統計」によると 941 施設になります）。

#### （1）自然体験とともに生活・交流体験の場

多くの施設は自然豊かな場所に設置されていますので、自然体験を通して、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができます。また、決まった時間での起床・就寝、TVやゲームの無い生活、使った場所の清掃や片付け、他団体との交流といった生活・交流体験を通して、公共の精神や自律性等を身につけることもできます。自然体験に加え寝食を共にした生活体験は、学級や学年への所属感や連帯感を深めることにつながります。

#### （2）整備されている体験活動プログラム

各施設では、野外炊事や登山、オリエンテーリングやウォークラリー、カッターやカヌーなど、施設の自然環境等の立地条件を活かした多様な体験活動プログラムが整備されています。

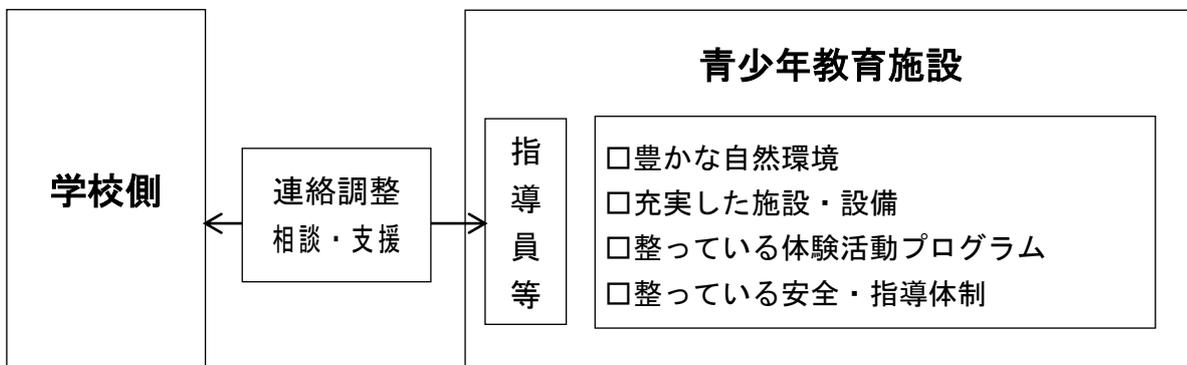
多くの施設では、活動に必要な教材や道具等が整備されており、一部の有料なプログラムや教材を除き無料で使用することができます。また、国立青少年教育施設では、様々な体験活動プログラムを教科等に関連づけた展開例を作成し、学校に提供しています。

#### （3）整備されている指導体制

多くの施設では、青少年教育や体験活動プログラムに関する専門的な知識・技能を有する職員・指導員等が配置されており、児童生徒に体験活動プログラムの指導、安全指導、生活指導を行っています。また、引率者等に対して、効果的な計画の立て方や利用の仕方に関する事前相談も行っています。

#### （4）割合・安価での利用が可能

国立青少年教育施設は施設使用料が無料など（学校や青少年団体等が利用する場合）、公立青少年教育施設を含め、安価で利用することができるので、保護者の経済的な負担を軽減できます。



## 2. 国立青少年教育施設の検索方法

独立行政法人国立青少年教育振興機構はウェブサイトの中で“全国の国立青少年教育施設”を紹介しています (URL <http://www.niye.go.jp/>)。



参考:独立行政法人 国立青少年教育振興機構が運営する青少年教育施設

所在地	施設名	所在地	施設名
北海道美瑛町	国立大雪青少年交流の家	北海道日高町	国立日高青少年自然の家
岩手県滝沢市	国立岩手山青少年交流の家	宮城県栗原市	国立花山青少年自然の家
福島県猪苗代町	国立磐梯青少年交流の家	福島県西郷村	国立那須甲子青少年自然の家
東京都渋谷区	国立オリンピック記念青少年総合センター	群馬県前橋市	国立赤城青少年交流の家
長野県伊那市	国立信州高遠青少年自然の家	新潟県妙高市	国立妙高青少年自然の家
富山県立山町	国立立山青少年自然の家	石川県羽咋市	国立能登青少年交流の家
福井県小浜市	国立若狭湾青少年自然の家	静岡県御殿場市	国立中央青少年交流の家
岐阜県高山市	国立乗鞍青少年交流の家	奈良県曽爾村	国立曽爾青少年自然の家
兵庫県南あわじ市	国立淡路青少年交流の家	岡山県吉備中央町	国立吉備青少年自然の家
島根県大田市	国立三瓶青少年交流の家	広島県江田島市	国立江田島青少年交流の家
山口県山口市	国立山口徳地青少年自然の家	愛媛県大洲市	国立大洲青少年交流の家
高知県室戸市	国立室戸青少年自然の家	福岡県筑前町	国立夜須高原青少年自然の家
長崎県諫早市	国立諫早青少年自然の家	熊本県阿蘇市	国立阿蘇青少年交流の家
鹿児島県鹿屋市	国立大隅青少年自然の家	沖縄県渡嘉敷村	国立沖縄青少年交流の家